

(別紙)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 長野市

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン ナガノシャカイジギョウキョウカイ
法人名	社会福祉法人 長野市社会事業協会
フリガナ	ホホエミ
事業所名	ほほえみ
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
39.5 人	

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☒ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数): インカム クリアトークカム 5セット 及び 見守り支援システムaams

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	22 人	1,200 件	14,400 件	30 分	158,400 人時間	327 時間
	2 排泄介助・支援	22 人	1,200 件	14,400 件	100 分	528,000 人時間	1,091 時間
	3 生活自立支援(※1)	22 人	1,050 件	12,600 件	15 分	69,300 人時間	143 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	22 人	150 件	1,800 件	30 分	19,800 人時間	41 時間
	5 その他の直接介護	22 人	1,200 件	14,400 件	60 分	316,800 人時間	655 時間
間接業務	6 巡回・移動	22 人	4,400 件	52,800 件	10 分	193,600 人時間	400 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	22 人	2,200 件	26,400 件	30 分	290,400 人時間	600 時間
	8 見守り機器の使用・確認	22 人	300 件	3,600 件	5 分	6,600 人時間	14 時間
	9 その他の間接業務	22 人	1,200 件	14,400 件	15 分	79,200 人時間	164 時間
			12,900 件	154,800 件	295 分	1,662,100 人時間	3,434 時間

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

＜※1＞B. ひと月当たり発生件数の算出方法

6 間接業務に係る巡回・移動について、業務従業者数1人1月あたり20日勤務として、巡回・移動回数を1日10件として算出しております。
7 間接業務における連絡調整等について、業務従事者1人1月あたり20日勤務として、1日あたり5件の申し送り等として算出しております。

＜※2＞D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

6 間接業務に係る巡回・移動について、施設内を申し送り者を探す際にかかる時間及び、業務確認等の申し送りの時間を含めて1件当たりの平均値10分として算出しました。
7 間接業務における連絡調整等について、1件当たりの日誌入力時間や申し送り時間を考慮し、30分としました。

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	22 人	1,200 件	14,400 件	30 分	158,400 人時間	327 時間
	2 排泄介助・支援	22 人	1,200 件	14,400 件	100 分	528,000 人時間	1,091 時間
	3 生活自立支援(※1)	22 人	1,050 件	12,600 件	15 分	69,300 人時間	143 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	22 人	150 件	1,800 件	30 分	19,800 人時間	41 時間
	5 その他の直接介護	22 人	1,200 件	14,400 件	60 分	316,800 人時間	655 時間
間接業務	6 巡回・移動	22 人	3,520 件	42,240 件	5 分	77,440 人時間	160 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	22 人	1,760 件	21,120 件	20 分	154,880 人時間	320 時間
	8 見守り機器の使用・確認	22 人	300 件	3,600 件	5 分	6,600 人時間	14 時間
	9 その他の間接業務	22 人	1,200 件	14,400 件	15 分	79,200 人時間	164 時間
			11,580 件	138,960 件	280 分	1,410,420 人時間	2,914 時間

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

6 間接業務に係る巡回・移動について、業務従業者数1人1月あたり20日勤務として、インカム導入により最小限の移動で済むため巡回・移動回数を1日8件として算出しております。
7 間接業務における連絡調整等について、業務従事者1人1月あたり20日勤務として、インカム導入により引継ぎ業務がわざわざ集合して行う必要がなくなるため、1日あたり4件の申し送り等として算出しております。

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

6 間接業務に係る巡回・移動について、インカムを導入することにより施設内の他職員を探し回る必要がなくなり、最小限の移動で済むため5分としました。
7 間接業務における連絡調整等について、日誌の入力の際に他職員に相談しながら作成でき、円滑な作成をすることができるため20分としました。

年間業務時間数想定削減率(%)

15.1%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

職員間で情報共有、発信がスムーズになり、見守りシステムとの連携で場所を問わず施設内の状況把握をすることができるようになりました。

(5)今後の課題

今回導入したインカムの台数が5台で、実際に勤務する職員数分を確保しなければいけないと思います。想定以上に早く現場職員に定着したため、現状WiFi環境が施設全体に行き届いていないので、至急整備をしなければいけないと考えています。

(6)気づき等について

思いのほか現場職員に定着したため、スムーズな導線の確保、迅速な緊急対応をすることができ、シミュレーションしていた状況を超えて目からうろこの状況でした。外線電話において対応職員を探し回る必要がなく、想定していない部分でも改善が見込めそうです。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。